



# もみじだい

学校教育目標 「夢をもち 地域と共に生きる生徒の育成」



## 二度の開校の経験を 未来につなげて

学校長 木原 英俊

令和4年4月、新学校教育目標「夢をもち、地域と共に生きる生徒の育成」を策定し、新生もみじ台中学校としての歩みが始まりました。当時、校内には新旧3種類の標準服とジャージが混在していましたが、全校生徒が二つの学校の歴史をつなぎ、自分たちの手で、新しい学校を創りたいという想いが満ちていました。本当に大切なのは、特別なことではなく、毎日の生活の中に溢れていること。行事では同じ目標に向かって仲間と共に創り上げていく姿。どちらもかけがえのないものでした。

今から10年前の開校40周年記念誌の巻頭言には、こう記されています。「長い歴史の中で、本校の素晴らしい伝統と校風が築き上げられ、特に近年は『あいさつと合唱』が自他ともに認める新たな伝統として引き継がれてきました。」

統合新設校としての歩みをはじめから、さわやかな挨拶から始まる毎日は変わっていません。合唱は、学級対抗のコンクールから学年合唱のフェスティバルに変わりましたが、毎年、心に響く歌声で体育館が満たされています。時代の流れとともに形は変わっても、「言葉や歌を通して、気持ちや想いを伝え合う」という本校の伝統は、脈々と受け継がれています。

そして今、全校生徒の姿から日々感じるのは、「憧れと向上心」です。「あんな3年生になりたい」「自分たちもいつかは」、学校生活の様々な場面で上級生が見せる姿に下級生が憧れを抱き、いつかは越えたいという向上心につながっています。そういった日々を積み重ねて、毎年3月には、卒業生から在校生が伝統のバトンを受け取ってきたからこそ、今のもみじ台中学校の姿があります。今、この時を共有している全校生徒はもちろん、巣立っていった卒業生との出会いにも感謝しながら、開校50周年を迎えることができたことを、誇りに思っています。

近い将来、もみじ台地区には義務教育学校の開校が計画されています。本校にとって三度目となる開校には、もみじの森小学校、もみじの丘小学校と統合し、地域の新たなまちづくりの一翼を担うことが期待されています。校名や校歌が変わっても、半世紀以上積み重ねてきた歴史を受け継ぎ、児童・生徒が地域の皆様とともに9年間の学びをつなげ、自らの未来に夢をもって成長していける。そんな学び舎になることを願ってやみません。その時を迎えるためにも、本校はこれからも歩み続けてまいります。



## 開校50周年記念式典 生徒代表の言葉

生徒代表 3年4組 ○○ ○○



もみじ台中学校は市内51番目の中学校として開校してから、50年が経ちました。また、私達3年生が入学するときに、もみじ台南中学校と統合し、新生もみじ台中学校として新しいスタートを切りました。それから3年間、元もみじ台中、もみじ台南中の生徒が力を合わせ、新しいもみじ台中学校を築いてきました。はじめは不安などもありましたがたくさんの仲間ができたり、自分を高め合うことができました。また、その証として、私達の標準服の胸元には、私達がデザインし創り上げた、50周年記念のバッジが輝いています。

開校50周年を迎えた今年の生徒会テーマは「Fly High」です。全校生徒がもみじ台中学校を良い学校にするため、向上心を持ち、高みを目指し飛び続けたいという思いをこのテーマに込めました。

私達生徒会役員は、先輩方の積み上げてきたものを更に良いものにしたいと思い、いろいろな活動を行ってきました。例えば、毎年年末に行っている募金活動では、もみじ台地区にお住まいの一般の方にも募金活動を呼びかけました。その結果、例年よりも多くの募金をアフガニスタンの紛争地域に義援金として贈ることができました。校内の活動を地域にも発信することで、たくさんの方に関わっていただき、生徒会活動の幅を広げ、地域の方々との絆を深められたことが、生徒会の大きな成果だと思っています。

また、今年初めて開催された、全市の中学生による「さっぽろっ子サミット」にも参加しました。パートナー校であるもみじの森小学校、もみじの丘小学校と意見を交わし、全市の中学校と生徒会活動について交流することで、50周年を迎えたもみじ台中学校を更に発展させるためのヒントを得ることができました。これからも、このような機会を大切にしながら、50期以降の役員も地域や学校全体の発展に貢献していく姿勢を続けていってほしいと思います。このようにして多方面での活動を通し「Fly High」という目標に近づけるとともに、未来に向けて新たなスタートをきるもみじ台中学校の土台をつくることができたと、もみ中生徒会役員は考えています。

私達3年生は3月に卒業を迎えます。卒業後は地域の一員となって地域の方と共にもみじ台中学校を支えていけたらいいなと思います。また、これからもみじ台中学校の生徒会が代を重ねていった時に、「50周年のときのもみ中とは全く違う、より素晴らしい学校にすることができた」と胸を張れるように、全校生徒の手で生徒会活動を盛り上げていってほしいと思います。そのためには、全校生徒の生徒会活動に対する意識を更に高めていくことがとても大切だと思います。生徒会役員全員で協力し合い、今まで先輩方から受け継いできた伝統や活動を大切にしながら、より磨きをかけ、新たな活動へと発展していくことを祈念します。

